

西宮市議会議員

たかの しん

政党無所属・33才

- ◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆元・阪急不動産（株）/ 阪急阪神不動産（株）勤務

f たかの しん t takanostyle i takanostyle
🌐 <https://takanoshin.jp> 🔍 たかのしん



◆初心を忘れず、2期目も全力で市政に取り組みます！

おかげさまでお預かりできた新たな任期。これからも地道な活動を積み重ねてまいります！

■選挙結果のご報告

本年4月23日投開票の西宮市議会議員選挙において、3,127票ものご信託を賜り、2期目の当選を果たすことができました。立候補者66名のうち、全体で15位・政党無所属の候補者で3位という結果に、頂戴したご期待の重さを深く実感しています。皆様からのご支援・ご声援をしっかりと受け止め、今後も市政における課題の解消や政策の提案に全力を尽くす所存です。また、私は選挙の有無にかかわらず、日頃から継続して広報活動を行ってまいりました。2期目の任期においても、年4回の定例会ごとに市政報告チラシを発行し、駅前での配布やご自宅へのポスティングで皆様にお届けしてまいります。ブログ・SNSを必ず週1回以上必ず更新する等、WEBでの情報発信にも力を入れておりますので、ご関心をお寄せいただければ幸いです。

■所属委員会等について

今年度、私は教育子ども常任委員会に所属するとともに、議会運営委員会および社会福祉審議会の委員を拝命しました。本会議の一般質問だけでなく、

様々な機会を通じて政策の実現を目指してまいります。特に、教育子ども常任委員会が所管する子育て・教育分野には課題が山積しており、具体的な議論や提言の重要性を感じています。

近年、学校現場では多様化する教育ニーズへの対応に加え、全児童・生徒に配布されたタブレット端末の活用等、新しい取り組みも増加しています。その中で、先生方が子どもたちと向き合う時間を十分確保するには、事務負担の軽減が欠かせません。業務見直しの一環として、部活動の地域移行が注目されていますが、進め方によってはかえって現場の混乱を招く危険性もあり、丁寧な制度設計が必要です。

また、待機児童が発生している保育所や育成センターでは依然として受入枠の拡大が求められる一方、出生数は大幅に減少しています。従来は施設の新規整備に重点が置かれてきましたが、需要のピーク後を見据えて、運用の見直しや保育環境の改善といった多角的な施策にも取り組まなければなりません。

私は今回の選挙で「子育て・教育環境の向上」を主要目標に掲げ、財源確保のために行政改革を訴えました。この想いを原点に活動を進めてまいります。

■PROFILE / 鷹野 伸 (たかの しん)

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在2期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。

【事務所住所】 〒662-0812 西宮市甲東園3丁目1-37-308

※外出している場合が多いため、ご来訪の際は事前にご連絡くださいませ。

◆コスト削減は、全庁的に進めるべき取り組みです！

行政改革はもちろん重要。しかし、今回示されたコスト削減の手法には大きな課題があります。

■「コスト削減支援業務」の概要

6月議会において、市は「内部経費適正化によるコスト削減支援業務」として2年間で最大4億3千万円を支出するための補正予算案を上程しました。本業務は市が支出する委託料・使用料・消耗品費等について、外部事業者が契約内容の分析・コスト削減策の企画立案を委託し、年間削減効果額の2分の1を成果報酬として事業者へ支払うものです。私は以前から行政改革を市に求めており、民間の視点を活用してコスト削減を図る本事業は有意義な取り組みと考えています。一方で、本市がこうした成果連動型民間委託契約方式を採用するのは初めてであり、課題の整理が欠かせません。

■成果連動型民間委託の課題

成果連動型民間委託では、指標の設定と効果の算出が大きな鍵を握ります。本事業によるコスト削減効果額は、受託事業者の提示金額をそのまま採用するのではなく、明確な基準と市によるチェック機能が必要です。また、取り組みの透明性を確保するた

めに、成果の公表手法も具体的に定めるべきです。報酬額の水準が非常に高く、その妥当性についても丁寧な検証が求められます。しかし、本事業は6月議会で唐突に示され、議決を得る前に事業者公募へ向けた手続も開始されていました。こうした拙速な進め方に、私は強い疑念を抱いています。

■取り組み効果の最大化を！

本来、コスト削減は安易に外部の力を頼るのではなく、市が日頃から自主的に行うべき取り組みです。議員や監査委員から指摘された事項への対応も含め、まずは市内部での努力が重要です。そのためにも市は本事業を通じて、外部事業者の支援終了後にも活用できるノウハウを獲得しなければなりません。

今回は約80億円分の委託料等を見直しの対象としていますが、当然ながら他の業務においてもコスト削減は必要です。市は本事業を一過性の取り組みとせず、獲得したノウハウを活かして全庁的な業務改善を進めるべきです。今後の展開を注視しながら必要な指摘・提言を行ってまいります。

◆深刻な駅前での受動喫煙問題。実効性のある対策を！

単なる啓発で解決するのは困難。強制力のある「喫煙禁止区域」への指定が欠かせません。

■駅周辺の受動喫煙対策は急務です。

健康被害につながる受動喫煙は社会的な課題であり、特に妊婦の方や子ども達への悪影響が懸念されています。2020年4月に全面施行された改正健康増進法や県の受動喫煙防止条例をふまえて灰皿の撤去等が進められていますが、本市では駅前等で喫煙する人が後を絶ちません。特に、以前に灰皿が設置されていた場所では、その場で喫煙することが習慣となっている人が多いようで、通勤・通学する市民が多く往来する空間にもかかわらず、駅前での望まない受動喫煙が常態化しています。

◇路上喫煙が多く見られる駅前



阪急甲陽園駅



阪急西宮北口駅

■喫煙禁止区域の拡大を！

市は現在、駅前でマナー指導員による巡回を実施していますが、十分な効果をあげているとは言えないのが現状です。市条例では喫煙禁止区域での喫煙に対し5万円以下の過料を課していますが、禁止区域に指定されているのは市役所周辺のみです。近隣自治体では駅周辺を禁止区域としている例が多く、本市も同様の取り組みを進めるべきです。また、学校・病院の周辺や公園等における喫煙禁止も徹底しなければなりません。市に対し、実効性のある受動喫煙対策の実施を求めてまいります。

◇近隣自治体の状況

自治体	喫煙禁止区域
西宮市	市役所周辺のみ
芦屋市	阪神芦屋駅・打出駅、JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 周辺 ※全駅
尼崎市	阪神尼崎駅・出屋敷駅、JR尼崎駅・塚口駅 周辺
宝塚市	JR宝塚駅、阪急宝塚駅 周辺、「花のみち」の市道上